# TTC 定例山行実施記録表

2010年9月6日　報告者:長谷川洋文

| | |
|---|---|
| 山行名 | 木 曾 御 嶽 山　（日本百名山）　[3067m／長野県] |
| 実施日 | ２０１０年８月２８日（土）～２９日（日）　一泊二日　ﾏｲｸﾛﾊﾞｽ利用 |
| 天候／参加人員 | 天候:晴　レベル:★★　参加人員: 16 名（男7名/女9人） |
| ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ | CL／計画:　SL／写真:　会計:　救護:　ﾄﾞﾗｲﾊﾞ:　氏 名 削 除 |
| 参加メンバー | A 班　☆<br>B 班　☆　氏 名 削 除<br>C 班　☆ |
| 費用<br>**￥18,300－** | ﾏｲｸﾛﾊﾞｽﾚﾝﾀﾙ料￥80000　燃料代（@110x(600+50)/5)=¥14300　ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ謝礼[18000×2＋2000(距離加算)＋2000(宿泊加算)]=¥40000　高速料金[@3200(相模湖→伊那)＋@1850（伊那→一宮御坂）]=¥5050　ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰ宿泊費(御嶽観光ｾﾝﾀｰ)¥7000<br>宿泊費@9000x16=¥144000（弁当代 600 円は個人払い）通信費 1000 円<br>**費用合計￥291，350**　TTC ｶﾝﾊﾟ金¥1,450　**集金@18，300×16＝￥292，800－** |

歩行・行動時間

| | 歩行時間 | | | 休憩時間 | | | 行動時間 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 8/28 | 8/29 | Total | 8/28 | 8/29 | Total | 8/28 | 8/29 | Total |
| ガイドブック | 2:50 | 4:50 | 7:40 | — | — | — | — | — | — |
| 計画 | 3:35 | 6:25 | 10:00 | 0:20 | 1:30 | 1:50 | 3:55 | 7:55 | 11:50 |
| 実行 | 3:20 | 6:10 | 9:30 | 0:25 | 1:35 | 2:00 | 3:45 | 7:45 | 11:30 |

## 実行コースタイム記録

**◆8/28(土)**　中央高速道　R361　R19　県道20　県道256

ヨーカドー前＝＝＝相模湖 IC＝＝＝談合坂 SA＝＝＝辰野 PA＝＝＝伊那 IC＝＝＝道の駅三岳＝＝

6:15　7:20　7:30　7:45　9:10　9:20　9:30　10:15　10:25

60　45　60　35

＝＝田の原（御嶽山王滝口）・・・・・・・金剛童子・・・・・・・・・富士見岩・・・・・・・王滝頂上・・・・・・・御嶽剣ヶ峰山荘（旧旭館）

11:25　12:00　13:00　13:05　13:50　13:55　14:55　15:10　15:45

**◆8/29(日)**　5（左回り）85　20（賽の河原避難小屋）25（空身）25（賽の河原避難小屋）20　〔昼食〕

御嶽剣ヶ峰山荘・・・・・・剣ヶ峰・・・・・・二ノ池新館・・・・・摩利支天乗越・・・・・・摩利支天山・・・・・・・摩利支天乗越・・・・・・・二ノ池新館・・

6:05　6:10　6:15　7:40　7:50　8:10　8:20　8:45　8:50　9:15　9:20　9:40　10:15

40　80　70　中央高速道　R20 号

・・王滝頂上・・・・・八合目石室・・・・・田の原＝＝＝日野薬草本舗＝＝＝伊那 IC＝＝＝辰野 PA＝＝＝一宮御坂 IC＝＝

10:55　11:10　12:30　12:40　13:50　14:05　14:55　15:15　16:15　16:25　16:35　17:45

＝＝道の駅甲斐大和＝＝＝厚木市内

18:05　18:15　22:05

## コースの概要、特記事項、反省事項等

今夏は大変な猛暑であるが、当日も晴れ渡り暑くなりそうな天気であった。目的の田の原登山口に着くとまず車の多さに驚かされた。100 台以上の駐車場があるとのことだったが満杯でマイクロバスを止めるスペースはなかった。昼食をバスの中で食べた後、登山を開始するが、予想通り非常に暑い、やはり夏場は昼から登る計画は避けたほうがよいようである。登山道のほとんどは、石のゴロゴロした岩場で時々急斜面な場所もあり、少々危ない。金剛童子の場所などで休むが、暑くて休んだ気がしない。王滝頂上に着くと硫黄の匂いがしだし、煙をモクモクと出している所が現れたが、箱根の大涌谷などに比べると、だいぶ迫力がない。王滝頂上から 30 分ほどで、目的の御嶽剣ヶ峰山荘に着く、頂上直下の崖淵に作られ城のような石垣を持ったりっぱな山小屋であった。着くとお茶とお菓子が用意されており、疲れた人はそこで休憩し、元気な人はすぐ上の頂上へ景色を見に行った。翌日はご来光拝んだ後（見事な日の出であった）朝食を取り、予定より少々早く出発する、神社のある頂上で集合写真をとるが、とにかく眺望がすばらしい。富士山、アルプス（北、南、中央）、八ヶ岳と、ほとんどの山が見える素晴らしい所であった。そこから神社の裏を抜けお鉢巡りのコースを行く。少々険しく、途中に「XX童子」と書いてある石碑が数えきれないほどある。二ノ池新館、賽の河原を経由し、摩利支天乗越（賽の河原避難小屋）に荷物をデポし、摩利支天山に登る。この山は、狭い岩場の頂上で景色もよいが、剣ヶ峰の景色には少々劣る。摩利支天山を下り、二ノ池新館へ向かう途中、ゼッケンを付けた若者がすごい勢いでやってきた。トレイルランニングのレース人たちが上がってきたようだ。最初のうちは、「ガンバレ」などと応援していたが、とにかく人数が多く、狭いところでは、危険な場面もあり、応援するのはいやになってしまった。580人ぐらいが参加していたようだが、日曜日にメインの登山道でこの人数はいかがなものかと思われる。暑さとレースの邪魔な中、けがもなく無事下山し、帰り名産品「七笑」（日本酒）が欲しいという方が多かった為、地元の名産品店による。ちなみに近くの「道の駅三岳」にこれはない。その後、権兵衛トンネルを抜け伊那インターより中央高速に入るが、勝沼インター付近に渋滞があるとのことなので（小仏峠を先頭に約 30km の渋滞）、ひとつ手前の一宮御坂インターで降り、一般道を行く。ほとんどのところはガラ空きであったが、大月インター、上野原インター出口付近は、高速から出てくる車で一杯で渋滞に引っ掛ってしまった。今回の山行は、暑さに少々参ったが、美しい日の出と山々の眺望に恵まれた大変すばらしいものであったが、「OSJ おんたけスカイレース事務局」には一言文句を言いたい。